



電話

日本のスマートフォンの多くはそのまま利用できますが、海外ローミングは料金が高くなる場合があるため、現地のSIMカードやeSIMを利用するのがおすすめです。オーストラリアの主な通信会社はTelstra、Optus、Vodafoneです。短期旅行であれば、現地到着後にSIMカードやeSIMを購入すると、料金を抑えながら快適にインターネットや通話を利用できます。

水道水

水道水は飲料水として利用できますが、ホテルなどの水道水は一度沸騰させてから飲むほうが無難です。また公共の場での飲酒は禁じられており、罰金の対象となりますのでご注意ください！オーストラリアでは18歳以上の飲酒が認められていますが、場合により身分証明書の提示を求められることがあります。お酒はコンビニやスーパーでは購入できず、ボトルショップと呼ばれる専門店のみ販売されています！

シートベルト着用

座席にシートベルトが装備されている車に乗車する際は、安全の為に運転席、助手席、後部座席すべてにおいて、シートベルトの装着が義務づけられています！装着していない場合は、罰金が科せられますのでご注意ください。また州によっては、12シーター以下のバスにご乗車の場合、チャイルドシートの着用が義務付けられています。

クレジットカード

オーストラリアでは、クレジットカードがあればほとんどの支払いができます！VisaやMastercardが特に使いやすくおすすめです。また、ホテルやレンタカーでは保証金（デポジット）が一時的にカード枠から確保されることがあります！安心のため、クレジットカードは2枚以上持参し、少額の現金も用意しておくのがおすすめです！

紫外線

オーストラリアの紫外線は日本よりも非常に強く、地域や季節によっては日本の約1.5～2倍のUV指数になることがあります。そのため、短時間の外出でも日焼けしやすく、現地では紫外線対策が欠かせません！オーストラリアでは曇りの日でも紫外線が強いため、季節を問わず注意が必要です。

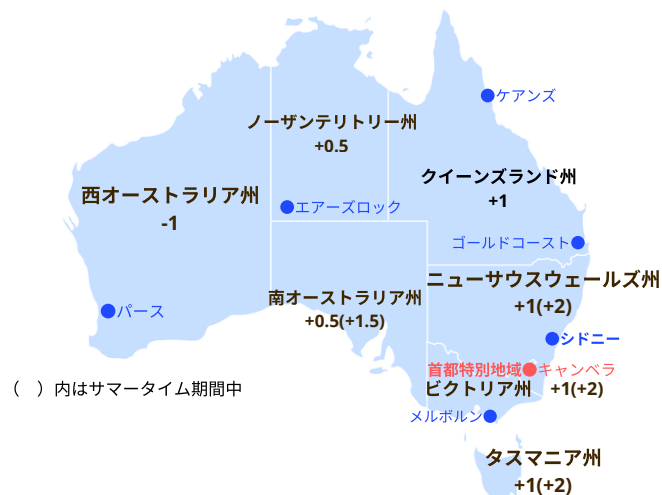
チップ

オーストラリアではチップは原則として不要です。但し高級レストラン等特にお世話になったような場合には料金の10～20%程度の金額を渡すのが目安です。レストランでは、土・日・祝祭日にテーブルチャージとして合計金額の10～20%が加算されることがあります。



時差

- ・ シドニー・メルボルン
日本時間+1時間（サマータイム中は+2時間）
 - ・ ブリスベン・ゴールドコースト・ケアンズ
日本+1時間（年中同じ）
 - ・ パース
日本-1時間（年中同じ）
 - ・ エアーズロック
日本+0.5時間（年中同じ）
- ※サマータイム：10月第1日曜～4月第1日曜



通貨

通貨は「オーストラリアドル(AUD)」です。

補助通貨単位：セント1ドル=100セント

紙幣 \$100 \$50 \$20 \$10 \$5

コイン \$2 \$1 50¢ 20¢ 10¢ 5¢

\$2と\$1は金色、50c、20c、10c、5cは銀色です。\$2硬貨は\$1硬貨より価値が高いですが、サイズは\$2の方が小さいです。50c硬貨は12角形で、他の硬貨と比べて大きいのが特徴です。

電圧

電圧は220～240V（50Hz）です。コンセントは「O型」のため、日本の電化製品を使用する際は、対応する変圧器とO型変換プラグが必要です。

また、一部のコンセントには電源スイッチが付いているため、電化製品を使用する際はスイッチをオンにしてからご利用ください。



気候と服装

オーストラリアは南半球に位置しているので、季節は日本と反対です。また広大な国ですので気候は地域によって大幅に異なります。服装は訪問時期と場所に合わせてお選びください。

上段：最高気温 下段：最低気温

季節	夏			秋			冬			春		
州・都市	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
ケアンズ	31	31	31	31	29	28	26	26	27	28	30	31
	23	24	24	23	22	20	18	17	17	19	21	22
ゴールドコースト	28	29	29	28	26	24	21	21	22	24	25	26
	20	22	22	21	18	15	12	12	12	15	17	19
シドニー	26	26	26	25	23	20	17	17	18	21	23	24
	18	19	19	18	14	11	7	7	8	10	13	15
メルボルン	24	26	26	24	20	17	13	13	15	21	23	24
	13	14	15	13	11	9	6	6	7	10	13	15
パース	29	32	32	28	26	22	18	18	18	20	23	26
	15	17	17	20	13	10	8	8	8	9	10	13
エアーズロック	37	38	38	33	29	23	20	23	23	27	31	34
	20	21	21	17	12	8	3	6	6	9	14	17

旅行中の注意

防犯・安全面

- ・夜間や、人通りの少ない場所での一人歩きは避けましょう。
- ・多額の現金や貴重品は持ち歩かず、ホテルのセーフティーボックスを利用しましょう。
- ・パスポートや航空券の管理には十分注意してください。
- ・セカンドバッグやクラッチバッグは脇に挟まず、必ず手でしっかり持ちましょう。
- ・荷物を置いたままその場を離れないようにしましょう。
- ・オーストラリアは比較的治安の良い国ですが、スリや置き引きへの警戒は必要です。

海・ビーチでの注意

- ・オーストラリアの海は波が高く、潮の流れが速いため注意が必要です。
- ・遊泳は必ず赤・黄色の旗の間で行ってください。
- ・旗のない場所は危険なため、絶対に泳がないでください。
- ・ライフセーバーの指示には必ず従いましょう。
- ・一部の州では道路交通法により、サーフボードの車内への持ち込みに制限がありますのでご注意ください。

\\ 公共交通機関の利用方法 //

オーストラリアでは州ごとに公共交通機関の運営会社や運賃制度が異なり、利用する交通カードも異なります。近年はクレジットカードやスマホのタッチ決済に対応する都市が増えていますが、割引や上限運賃などの特典は専用交通カードでのみ適用される場合があります。渡航先や滞在期間に合わせて、クレカタッチと交通カードを使い分けるのがおすすめです。

都市（州）	カード名	クレジットカード/スマホの 直接タッチ	特徴・お得なルール
シドニー (ニューサウスウェールズ州)	Opal card	○	月～木：1日上限 \$19.30 金・土・日・祝日：1日上限 \$9.65 週上限 \$50.00（月～日で計算） 子ども（Child/Youth Opal）は大人料金のおおむね半額 ※空港駅（Sydney Domestic／International Airport Station）を利用する場合は、通常の運賃とは別に駅アクセス料金がかかります。これは1日・週の運賃上限の対象外です。
メルボルン (ビクトリア州)	myki	△ (myki対応の電車とトラムのみ可能)	CBD（市内中心部）の Free Tram Zone 内はトラムが無料。カード発行手数料として\$6かかります
ブリスベン / ゴールドコースト (クイーンズランド州)	go card	○	発行時に\$10のデポジットが必要（帰国時に返金可能） 1日\$1.50で乗り放題の ゴーエクスプローラーカード がおすすめ！
パース (西オーストラリア州)	Smart Rider	○	市内中心部は Free Transit Zone であればバス、指定区間の鉄道の乗車が無料 DayRider（1日乗り放題）\$7.00 FamilyRider（家族1日乗り放題）\$7.00 3時間以内ならどこまで行っても・何回乗り換えても最大\$3.50
アデレード (南オーストラリア州)	metro CARD	○	市内中心部のトラムには 無料区間 あり。 無料循環バス（98A/98C、99A/99C） 《バス・電車・トラム》 ピークの時間帯4.55ドル （～9:00まで、5:00時以降（月～金）＋土曜日の終日） ピーク以外の時間帯2.60ドル 1日上限\$10.40

※ここに掲載されている情報はすべて2026年6月時点のものです。